

# 日常で使える英語学ば

## 三沢高でアカデミック集中講座

三沢

青森県立三沢高(白戸爾校長)は22日、同校で英語科2年生37人を対象に、県内大学の外国人講師による模擬講義「アカデミック英語集中講座」を実施し、生徒が日常で使える生きた英語を学んだ。(齋藤桂)



外国人講師から仕事先で使える英語を学ぶ生徒たち

## 県内大学の外国人講師が指導

講師を務めたのは、八戸学院大地域経営学部(グレゴリー・アンソニー准教授)と弘前学院大文学部のエドワード・フォーサイス教授。授業は、ほぼ英語だけで行われた。

生徒は2班に分かれて受講。アンソニー准教授による「現場で使える英語」では、ショッピングセンターのお客さま対応を疑似体験。サンダルの返品を求められた際の答え方をグループごとに考え「返品できない」「サイズ交換が可能」などと英語で応じていた。

他にも英検やTOEFL、TOEICのスコアが上がる学習や、インターネットを使った英語習得術などについて講義を受けた。北向太一さん(17)は「三沢は外国の方が多い。日常で使える英語を身に付けることを意識して取り組んだ」と話していた。